

北商連ニュース

発行

北海道商工団体連合会
札幌市北区北6条西7丁目
小貫印刷センタービル6階
011-717-3800
Mail : hokusho@deluxe.ocn.ne.jp
2025年8月 第85号

参議院でも自公政権が過半数割れに

消費税減税・インボイス廃止へ 実現に向けて道を切り開く

7月20日投開票の参議院議員選挙が行われ、昨年の総選挙に引き続き、我々、民商・全商連が掲げた大きな目標となる「自公政権の「消費税減税」を掲げて当

主要政党の主な参院選公約					
	消費税	インボイス制度	物価対策	社会保障	中小業者支援
自由民主党	減税せず		1人2万円給付、低所得者と子どもに2万円上乗せ	医療費4兆円削減	
立憲民主党	1年間限定で食料品0%に	廃止	1人2万円給付。給付つき税額控除の導入。ガンリン暫定税率の廃止	訪問介護の基本報酬引き上げ。現役世代と若者の年金の底上げ	事業承継・生産性向上などへの支援拡充。新規正社員の社会保険料負担軽減
公明党	減税せず	デジタルインボイス推進	つなぎで給付措置	医療費4兆円削減。年金の給付水準引き上げ。介護・保育従事者の給与引き上げ	「稼ぐ力」向上へ、税制・補助金で支援
日本維新の会	2年間、食料品0%に		ガンリン暫定税率の廃止	医療費4兆円削減	
国民民主党	実質賃金が上がるまで5%	廃止	給付つき税額控除の導入。ガンリン暫定税率廃止	後期高齢者の自己負担原則2割、現役並み3割に	賃上げ引当金制度の創設。新規正社員の社会保険料事業主負担の半分相当を助成
日本共産党	廃止をめざし、今すぐ5%	廃止	最低賃金を全国一律時給1500円に引き上げ、家賃減税と家賃補助の実施	医療費窓口負担、国保料・税の引き下げ、年金のマクロ経済スライド廃止	社会保険料軽減、賃上げへの直接支援
れいわ新選組	廃止	廃止	一律10万円給付	切れ目のない障がい者福祉サービス。介護保険の利用者負担を1割に	トランプ関税の影響を直接受ける中小事業者を支援
参政党	段階的廃止	撤回	国民負担率に上限35%を設ける	医療費削減に貢献した高齢者に国内旅行クーポンを発行	AI、製造業（自動車など）、サブカルチャーを重点支援

税のゆがみ正し 消費税減税を 道各界連街宣

道各界連街宣

参院選告示前の6月24日、消費税廃止各界連絡会（道各界連）では、札幌駅西側で定例の街頭宣伝を行いました。

「7月の参議院議員選挙を前に消費税の減税が大きな争点として浮上しています」と発した北商連の井上事務局長は「米価が一年で倍になり、野菜も家賃も電気・燃料代もあらゆるものが値上がり、多くの中小業者も資材や燃油などの高騰によって経営が圧迫されている」「世論調査では、消費税減税・廃止を求める声が約7割にのぼり反対を大きく上回った」と強調し、

「大企業の内部留保は過去最高の550兆円に上った。大企業・富裕層ばかりに税負担を軽くする税のゆがみ

減税に対する財源問題の不透明さや、自公政権の補完勢力となっている野党に流れたことは看過できません。この結果をもとに、早急に野党がまとまり「消費税減税」に動きをつくりだすことを求めると同時に、各自治体に向けた「消費税減税」「インボイス廃止」への意見書採択を目指すとともに、社会保険の拡充や中小業者支援策の改善など、今後の運動展開が重要となります。

をただし、応分の負担の税制に切り替えて、全ての国民に恩恵が及ぶ、消費税の減税を行うべき」と呼びかけました。また、日本共産党のはたやま和也元衆院議員もマイクを握り「今度の参院選で『消費税減税は絶対行わない』とする自公政権を少数に追いやれば、消費税減税・インボイス廃止が可能となる」と訴えました。



原告1千人超で闘い 勝訴判決を勝ち取る

「いのちのとりで裁判」

北商連も加盟する『生活保護制度を良くする会』が、10年以上かけて取り組んできた「いのちのとりで裁判」は6月27日、最高裁判所は「2013年〜2015年の生活保護費引下げは違法」「生活保護法第3条と8条1項に違反している」として、原告勝訴の判決を言い渡しました。



この勝利について、北海道生活と健康を守る会連合会（道生連）の三浦誠一会長は「厚労省の杜撰で、極めて政治的な保護基準の引き下げを、徹底的についた弁護団の戦略が勝利をもたらし」と説明したと同時に「全国29地裁に対し、31団体、原告1千人超で闘って

また、三浦会長は今後の課題について、いまだに原告に対し謝罪さえしていない国・厚労省に対し、原告勝利の履行を迫り「生活保護法」から「生活保障法」への転換を求め、「今後運動を継続する」と呼びかけました。

（北商連から佐藤事務局員と中村事務局員が参加）

デマや差別で分断あおる ヘイト演説は許されない レッドアクション抗議行動

7月11日、新日本婦人の会と平和婦人会は、参政党の発言に対し「レッドアクション抗議デモ」を全国で展開し、札幌では、札幌駅前前で抗議行動を展開しました。5団体の15人が参加し、排外主義や女性への差別的発言などに「わたしの生き方はわたしが決める」「だれも排除しない国に」とアクションを起こしました。

（北商連から佐藤事務局員と中村事務局員が参加）

外国人を敵視する排外主義や女性蔑視の発言は許して許されることではないとした抗議行動では、「外国人が増えると犯罪が増える」「高齢女性に子どもは産めない」「農業によってがん患者が増えている」など、参政党のデマや差別で分断をあおるヘイト演説をしていくことは「根拠もない発言の数々であり許されるものではない」と強く訴えました。

順風満帆

参議院選挙が終わった。「消費税減税・インボイス廃止」を阻む自公政権を過半数割れに追い込んだのはいいが、業者後援会としての奮闘が実らなかったのと、自公政権の補完勢力と、外国人を攻撃する排外主義や国民に責任を押し付ける改憲論を放つ極右的な政党が議席を伸ばした事に悔しい思いが▼今回の選挙、序盤から「消費税問題」が争点となる、本来我々にとって追い風となるはずだったが、今回議席を伸ばした野党の多くは、消費税減税に対する財源論を明確にせず「消費税は廃止に」と訴え。これに多くの有権者が期待を持ったことが伺える▼現在、日本の歳入における税収は「消費税」がトップ。我々も「消費税廃止」を望んでいるが、税収の主力となってしまう消費税をそう簡単に廃止にはできない。大企業や富裕層から応分の負担を強いるような税制改革をすすめ、増え続ける「防衛費」にメスを入れないかぎり、「国債を発行して財源に充てる」は借金を増やすだけであり、後にその国債増加が問題となり「社会保障の削減」「地方交付金の削減」など、国民へのサービス削減につながる事になりかねない▼折しもこの原稿を作成している日は自分の誕生日。この歳になっては、誕生日はただ歳を重ねていく日だが、今回の選挙結果と相まって憂いが増すばかり。何としても消費税減税とインボイス廃止を実現させねば。（井上）

道内民商ニュース

夜の街に四百人超 はしごラリーを満喫

北見民商

北見民商・料飲支部では「北見の夜の街を盛り上げよう」と6月25日、2年ぶりの『はしご店探そう！はしごラリー』を山下ロータリー広場で開催しました。404人が参加し北見の夜の街を賑やかに楽しみました。2年ぶり3回目の開催となった『はしごラリー』料飲支部の役員を中心に年明けから実行委員会を結成し準備を進めてきました。参加店は居酒屋、スナック、バーなど特色ある民商会員や読者のお店33店舗。メディアで取り上げられたこともあり、事務所の前売り券は完売。当日券の販売を中止するほどの反響でした。



ラリーは受付で指定された3店舗を90分以内で回り、ワンドリンク、ワンチャームの提供を受け、スタンプを集めるというルール。開会あいさつにたった小野寺実行委員長（タマリバー）は「仕事で他の街に行くことが多く、北見の夜の街が寂しいと感じていたので多くの方が参加してくれてうれしい。今日の北見市は全国一の暑さです。暑さを吹き飛ばして、新たな店と出会い、北見の夜の街を楽しんでください」と呼びかけました。

空知民商

奇跡のように雨上がり 民商まつり楽しむ

6月22日、前日からの雨が奇跡のように上がった午後10時、今年も「おたる潮太鼓」の迫力の響きで「第2回空知民商まつり」（主催Ⅱ民商まつり実行委員会）が幕を開けました。第2回の今年は、去年と



多くの企業から提供された豪華景品で大盛り上がり。商品券や旅行券、特賞のアップルウォッチやニンテンドースイッチの抽選の際には、ひととき大きな歓声が上がりました。

終了後のアンケートでは「楽しかった」「毎年やってほしい」との声が多く、次回も参加したいという回答が100%に。「飲み足りない」とさらにハシゴ酒をした方も多く、北見の夜の街に賑わいと活気を生み出すイベントとなりました。

同じ個人出店に加え、滝川支部、深川支部、婦人部が出店し、署名コーナーや民商の紹介ボードも登場。ステージイベントは、美唄支部紹介の『加藤さん』と『福田さん』による音楽演奏、同じく『大道芸人・よねちゃん』の南京玉すだれとジャグリング、クローバー中空知青少年少女合唱団の合唱、無料子どもビンゴ大会が行われました。また、「飲み物チケット」を買い

諦めずに挑戦続け 管内全自治体採択

帯広民商・婦人部

2009年（平成21年）1月25日、浦野税理士の講演「所得税法条の廃止めざして」を皮切りに、「家族専従者に働き分を」と全婦協で提起されていた、全自治体での所得税法56条廃止意見書採択運動への確信を得た帯広民商婦人部は、藤田婦人部長（当時）を先頭に、学習を進めながら十勝の各自治体議会へ意見書採択の陳情を行ってきました。2009年3月26日、全

道で初めて十勝の「芽室町」が採択となり全国・全道の婦人たちを励まします。しかし、幕別、音更は不採択、



対1名で見事採択となり、16年を掛けて十勝管内全ての自治体で採択されました。石割婦人部長は「あきらめず続けた16年間の苦闘の成果」。藤田さんは「議会ごとの特徴を理解しながら、大変だったけれど達成できて本当によかった」と喜びをかみ締めています。

会員どうして交流しながら 食べ飲み放題を満喫

函館民商・共済会

7月5日、ホテルテトラ屋上において函館民商共済会主催「第3回納涼ビアパーティー」が開催され、事前申し込みのあった共済会員46名が参加しました。

冒頭に藤井理事長から「来週の日曜日には函館民商と民商共済会の合同総会も控えています。こちらも参加を強めて頂きたいと思っています。今日は大いに飲んで食べて交流を深めましょう」と乾杯あいさつ。



サクラんボ祭りなど 一日楽しむ

室蘭民商・共済会

室蘭民商共済会の「さくらんぼ祭り&温泉ツアー」、6日に実施することができました。当初の予定より1週早まってことで不安もありましたが、連日の好天でさくらんぼを堪能しました。子どもを含めて28名と、例年よりも多い参加者がいて大満足の企画となりました。バスを降りて農園の方の説明を受けてさくらんぼ狩りをスタート。暑さのなか、時期がちよっと早いのか下の方が今一つなので、脚立を登っての狩りは汗だくに。「この木は美味しいよ」「この形が美味しい」と情報交換しながら狩りを満喫しました。

昼食はジנגスカン。さらに後半は温泉で汗を流してリフレッシュ。中には「入浴よりも昼寝」という人もいましたが、かいた汗を流し温泉で新たな汗をきながら、一日を大いに楽しみました。